

2023

コースガイド

写真コース

2023/5/02 p.17-19 履修モデルを一部訂正



学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育課程

写真コースは作品としての写真制作を念頭に、体系的に学習していくコースです。そのために、技術はもとより幅の広い写真の知識と思考力を身につけることを目的としたカリキュラムを構築しています。伝統や基本をふまえつつ、時代に即した新しい内容を修得するためには、写真についての思考と技術を並行してバランスよく学習していくことが大切です。作品制作のためには、技術の習得はもとより、写真の文化、歴史、社会性なども理解して制作に反映していく必要があります。

通信教育ではテキスト科目（自宅学習）とスクーリング科目（対面学習（一部遠隔））を効率よくリンクさせて学んでいくことが理想的な形です。このコースガイドで学びの全体を概観し、シラバスと照らし合わせながら関連性のある両科目が融合的に学べる内容であることを確認してください。

自宅学習が大きなウェイトを占める通信教育では、学習計画、事前学習や準備、予習復習などが必要です。カリキュラムの基本情報が網羅されたこのコースガイドとシラバスをしっかりと理解して学習を進めてください。学生のみなさん一人一人が写真との関わりを深めてその学びの目標を達成されさらなる高みを目指されることを願っています。

目次

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって……………	2
2. [在学生のみなさんへ] 2023年度からの変更事項と注意点……………	5
3. 学習を進めるにあたって……………	6
4. カリキュラムマップ……………	7
5. 卒業制作着手要件・卒業要件……………	8
6. 履修条件図……………	10
7. スクーリング日程一覧……………	12
8. スクーリング日程表……………	14
9. コース専門教育科目一覧……………	16
10. 履修モデル……………	17
11. 専門演習テキスト科目(TW・TX)……………	20
12. 専門演習スクーリング科目(S)……………	22
13. カメラ・機材について……………	24

『コースガイド』を使って履修計画をたてましょう

通信教育では通学制と異なり自分で履修プランをたて学習をすすめることが重要です。
入学許可後は、airU学習ガイドやシラバスを確認して履修計画をたてましょう。airUマイページでは履修プランを作成することができます。



本学通信教育課程では「履修登録」がありません。年度途中に新規科目に取り組むことも可能です。また、履修状況や学習環境の変化によって履修プランをたてなおし、学習をすすめていくことができます。

1. [新入生のみなさんへ] 学習をはじめるにあたって

皆さんご入学おめでとうございます。いよいよ大学生活がスタートしました。大学で写真を学ぶことを楽しみながらも、ひとつひとつの課題を取り組むごとにステップアップする自分が実感できるように過ごしてください。

1. airUマイページにアクセスする

写真コースでは、テキスト科目、スクーリング科目ともに学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習に取り組みます。課題の提出や教材の閲覧はもちろん、通信教育課程で学習を進めるにあたっての各種手続き（スクーリングの申し込みや各種証明書の申し込み、学籍更新手続き）もairUマイページから行うことができます。

ログインアカウントとパスワードが届いたら、まずはアクセスしてみましょう。

airUマイページ <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/>

検索 airU 京都芸術大学 ログイン

QRコード：airUマイページ



お知らせ
事務局や研究室からのお知らせが確認できます（こまめに確認が必要です）

学籍情報や成績など
・学籍情報
・成績
・藝術学舎受講履歴
・学費
上記項目が確認できます

**コンシェルジュ
お問い合わせフォーム**

教材 BOX
各科目共通の資料や入学ガイダンス資料を確認できます。

カリキュラム一覧（シラバス）
各科目の『シラバス』（科目概要や評価基準、課題の内容など）を確認することができます。

履修プラン
履修プランを立てる事が出来ます

スクーリング申込
スクーリングを申込や申込状況が確認できます

教材BOXを活用しよう

airU マイページにログインしたら、まずは教材 BOX>補助教材を確認しましょう。

ガイダンス画面をこちらからチェックし、入学から学習までの流れや、授業に必要な資料が確認できます。

教材Box

メニューから教材種別を選択し、必要な教材を閲覧/ダウンロード

- 授業教材
- 雲母
- 補助教材**
- テキスト
- 教員紹介

補助教材
まずは教材ボックスを開いて、補助教材を選択！

教材Box

● 授業教材

● 雲母

● 補助教材

内容で絞り込む

☒ すべて

☐ テキスト科目

☐ スクーリング

☐ 学習支援

☐ その他

期間で絞り込む

すべて 年 月

補助教材

スクーリングコード一覧 (春～秋) PDF [2020年度入学生] 新入生ガイダンス資料につ

2020年09月03日 2020年04月06日

2020年12月01日
2020年11月28日実施【史料講義ガイダンス】動画
2020年11月28日実施【史料講義ガイダンス】の動画を公開しました。学科コースを履修した学びの機会、改めて動画で振り返っていただければと思います。過去掲載している 8/15 史料講義ガイダンスに向けて「近現代史料の読み方」と合わせてご覧いただくとより理解が深まるかと思えます。

2020年08月20日
2020年8月15日実施【史料講義ガイダンス】動画
2020年8月15日実施【史料講義ガイダンス】の動画を公開しました。学科コースを履修した学びの機会、改めて動画で

新入生ガイダンス動画や、授業を受けるのに必要な資料が確認できます

2. 新入生ガイダンスに出席する

「新入生ガイダンス」（4月は京都・東京で開催、5月はオンライン開催。）に参加し、履修計画の立て方や履修方法などについて理解を進めましょう。ガイダンス出席は必須ではありませんが、今後、履修をスムーズにすすめるためにできる限り出席し、airU「教材BOX＞補助教材」に配信の「ガイダンス資料」も確認してください。

3. テキストを購入しよう

学習を始めるにあたり、以下のテキストを各自購入してください。テキストは電子版と印刷製本版（オンデマンドブック）があり、Amazon等インターネットで購入可能です。

- ・勝又公仁彦編『写真 新編 写真・技法と研究（はじめて学ぶ芸術の教科書）』京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 芸術学舎、2019年
- ・勝又公仁彦編『写真 新編 写真の歴史と展開、変容と拡張（はじめて学ぶ芸術の教科書）』京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 芸術学舎、2023年
- ・勝又公仁彦編『写真1 写真概論（はじめて学ぶ芸術の教科書）』京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 芸術学舎、2021年
- ・勝又公仁彦編『写真2 現代写真：行為・イメージ・態度（はじめて学ぶ芸術の教科書）』京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 芸術学舎、2021年

4. 履修計画を立てる

まず「卒業要件」を確認してください。次に何年かけて卒業するのか考えてみましょう。それにより1年間で修得すべき単位数が自ずと決まってきます。本コースのテキスト科目とスクーリング科目は学習内容が関連付けられていますので、そのことも念頭におきながら卒業までの履修計画を作成することをお勧めします。卒業制作に着手するためには、各自定められている「卒業制作着手要件」「卒業制作（3～6）」の履修の前提条件」を所定の期日までに満たしておかなければなりません。特に最短での卒業を目指している方は1年目から計画的に履修を進める必要があります。作成にあたっては本書pp.17～19「履修モデル」を参考にしてください。

「卒業制作着手要件・卒業要件」は本書pp.8～9をご参照ください。

5. 1年次テキスト科目の合格を目指す

1年次テキスト科目「写真演習Ⅰ-1」「写真演習Ⅰ-2」をすべて合格すると、2年次テキスト科目「写真演習Ⅱ-1」「写真演習Ⅱ-2」を履修することができます。

まず、1年次テキスト科目2科目の合格を目指して取り組んでください。

6. 3年次編入学生（卒業要件62単位以上・専門52単位以上）の皆さんへ

1年次配当科目から履修を始めますが、入学初年度から、3年次配当科目までの履修が可能です。科目によっては履修の前提条件があり、ステップアップで学んでいただくのが一番効率的であることを踏まえ、綿密に計画を立ててください。事情が許すならば2年間という最短期間にとらわれず、できるだけ時間をかけて、じっくりと一つ一つのステップを習得していただくのが理想的です。

7. 学習支援を利用しよう

様々な学習支援を用意しております。以下の支援内容は申し込み不要です。実施の詳細はairU「お知らせ」でお知らせいたしますので、こまめにチェックしてください。

- ・特別講義
年に数回ゲストをお呼びして様々なテーマで特別講義を開催します。主にオンラインでの開催となります。
- ・学習及びPC（デジタル）相談会
不定期で学習相談会を開催します。学習に関することなら何でもご相談ください。主にオンラインでの開催となります。

8. 質問方法

学習内容に関する質問はairUマイページのコンシェルジュ、電子メール、FAXで受け付けています。

コンシェルジュ… airUマイページよりアクセス

メール…………… question@air-u.kyoto-art.ac.jp

FAX …………… 075-791-9021

9. airUコミュニティを活用しよう

「airU（エアー・ユー）コミュニティ」は本学独自のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）です。

このSNSはWebブラウザおよびスマートフォン等のアプリ（iOSおよびandroid／ダウンロード無料）でご利用いただけます。学習に関することや展覧会のお知らせ、学生同士の交流などにぜひ活用しましょう。

- ・ ブラウザ版 <https://air-u.community.kyoto-art.ac.jp/#/login>
- ・ アプリ版



airUコミュニティ
Kyoto University of the Arts
iPad/iOS
無料

Android



App Store



アプリ版はこちらのQRコードからダウンロード可能です。

スクリーンショット iPad iPhone



2. [在学生のみなさんへ] 2023 年度からの変更事項と注意点

1. 印刷製本版『学習ガイド』の廃止について

印刷製本されていた学習ガイドは、2023年度より廃止となり、『airU学習ガイド』に完全移行致します。制作および配布は行いません。各種情報は、『airU学習ガイド』をご確認ください。

2. 美術科（2019年度以前入学）の卒業要件の変更について

学部共通専門教育科目の「造形基礎演習1・2」の改編にともない、2019年度以前入学生の卒業要件のうち、必修指定している「造形基礎演習1・2」が要件から除外されます。

「造形基礎演習1」は「デッサン」に名称変更をして総合教育科目へ移行します。

「造形基礎演習2」は「コラージュ・デッサン」に名称変更をして学部共通専門教育科目のままとなります。学部共通専門教育科目の必修指定科目はなくなりますが、学部共通専門教育科目の修得すべき単位数は変更ではありませんので、未履修の方は他の学部共通専門教育科目で充足するようにしてください。

「造形基礎演習1」「造形基礎演習2」履修済みの場合、学部共通専門教育科目のままで認定されます。名称変更後の新規開講科目は履修できません。

3. 3年次編入学について

3年次編入学[同分野]の学生は2022年度で年限を迎えましたので、2023年度以降、3年次編入学[同分野]、3年次編入学[異分野]という表現はなくなります。2022年度以前の3年次編入学[異分野]の学生は、3年次編入学としてコースガイドを確認してください。

4. スクーリング科目の遠隔化について

以下のスクーリング科目は、複数開講のうち1日程が遠隔（Zoomオンライン授業）になります。
「写真V-6」（デジタルフォト2）

5. 科目名の変更について

以下科目のサブタイトルを変更しました。

※課題内容に変更はありません。

テキスト科目

写真演習Ⅱ-1 第2課題「テーマ制作a」→「作品制作a」

写真演習Ⅱ-2 第2課題「テーマ制作b」→「作品制作b」

写真演習Ⅲ-1 第1課題「ポートフォリオ1」→「作品ポートフォリオ1」

写真演習Ⅲ-1 第2課題「ポートフォリオ2」→「作品ポートフォリオ2」

写真演習Ⅲ-2 第1課題「スタイル・ライフ」→「スタイル・ライフ（静物写真）」

写真演習Ⅲ-2 第2課題「コンストラクティッドフォト」→「コンストラクティッドフォト（演出写真）」

スクーリング科目

「写真V-12」（写真批評）→「写真V-12」（作品批評）

6. 新規テキストについて

2022年度まで写真コースのテキストとして送付しておりました『写真の変容と拡張』に代わる新テキスト『写真 新編 写真の歴史と展開、変容と拡張（はじめて学ぶ芸術の教科書）』が完成し、2023年度から写真コースのテキスト指定となります。

新規テキスト4冊は大学より郵送されません。購入を希望される場合、ご自身で購入をすることがございます。電子版と印刷製本版（オンデマンドブック）があり、Amazon等インターネットで購入可能です。

各科目は、旧テキストのみお持ちの2021年度までにご入学されたみなさまでも学習ができるよう、新規テキストを一部airUモジュールに配信しておりますが、卒業制作はもとより、卒業後にもご自身の制作について考えを深める際のきっかけや指針となるテキストですので、写真コースでは旧テキストをお持ちの方へも新テキストを購入いただくことを推奨しています。

3. 学習を進めるにあたって

学習を進めるにあたっては、airU学習ガイドもあわせて参照してください。

1. 履修形態

通信教育課程における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。
本学通信教育課程では、自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

テキスト科目	TR	テキストレポート科目	レポート課題と単位修得試験のある科目	自宅学習
	TW	テキスト作品科目	作品課題の科目	
	TX	テキスト特別科目	卒業関連科目、論文研究など特別な科目	
スクーリング科目	WS	ウェブスクーリング科目	Web上での動画学習とレポート試験／作品課題がある科目	対面／遠隔授業
	S	スクーリング科目	対面／遠隔授業のある科目	
	GS	藝術学舎科目	本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目	

2. 履修期間・課題提出期間

それぞれ3ヶ月タームで履修の区切りがあります。課題提出期間は科目区分によって決まっています。

課題提出・単位修得試験スケジュール		春期			夏期			秋期			冬期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
TR	テキストレポート科目	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8	レポート 21～30		試験 1～8
TW	テキスト作品科目	作品 11～20	作品 11～22		作品 11～20	作品 11～21		作品 11～20	作品 11～20		作品 11～22	作品 11～20	
TX	テキスト特別科目	課題の提出期間は科目により設定されます。											
WS	Webスクーリング科目		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20		レポート 21～28	最終講評 13～20
S	スクーリング科目		夏期先行募集 17～25			秋期先行募集 17～25			冬期先行募集 17～25				2024年度 春期先行募集 3月下旬
		春期追加募集 12～(開講30 ～5日前)		夏期追加募集 10～(開講30 ～5日前)		秋期追加募集 9～(開講30～ 5日前)			冬期追加募集 9～(開講30～ 5日前)				
GS	藝術学舎科目			夏季申込 6月初旬～			秋季申込 9月初旬～			冬季申込 12月初旬～			2024年度 春季申込 3月初旬～

- ・対面の単位修得試験の今年度の試験実施日と受験申込期間はairU学習ガイドを参照してください。
- ・スクーリング科目における追加募集の締切日につきましては、airUマイページ>スクーリング>「スクーリングを申し込む」>スクーリング一覧より確認してください。

卒業判定にかかる方は卒業関連科目以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。

※ただし、卒業要件の必修TR・TW科目において、秋期（10月～12月）のレポート・作品課題もしくは単位修得試験が不合格かつ当該科目以外の卒業要件を充たす見込みの方に限り、冬期の履修を認めることがあります。
詳細はairU学習ガイド>学習方法>卒業判定>卒業予定者のスケジュールを確認してください。

3. 課題提出方法

課題提出形態は「airU」「郵送」「窓口」の3種類です。科目により「airU」のみで受け付けるもの、「郵送」または「窓口」のみで受け付けるものもあります。それぞれの締切日の到着は、「airU」は13時までに大学のサーバーに着信済、「郵送」は本学に必着、「窓口」は京都・瓜生山キャンパス通信教育課程事務局窓口にて17時までに受付済、と定められています。

4. 単位修得試験

テキストレポート科目（TR）では、レポート合格後に単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWeb（airUマイページ）で受験できます。

5. スクーリングの申し込み方法・キャンセル

スクーリング科目（S）の申し込みは3ヶ月ごとに募集を行います。申込スケジュールを確認し、期日内にairUマイページより手続きしてください。また、受講許可後はキャンセル時期により10～100%のキャンセル料が発生します。

6. 藝術学舎科目

年4回3ヶ月ごとの季に分けて開講している一般公開講座です。講座を受講することで通信教育部で有効な単位の修得が可能です。詳細は、藝術学舎Webサイト、パンフレットを参照してください。藝術学舎の単位認定に関してはairU学習ガイド>教育課程>単位認定>藝術学舎取得単位の認定を確認してください。

4. カリキュラムマップ

TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 必 必修科目 選 選択必修科目

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための科目が、どのように配置されているのか、各科目の関係性や配当年次などを示した、カリキュラムの体系性が俯瞰できる図です。履修計画の参考にしてください。

カリキュラムの内容と 関連性

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
	専門領域の基礎知識・ 技術を習得し、表現力を 身につける	専門知識・技術を習得し、 企画力・構想力を養う	専門知識・技術を駆使し、 様々な写真表現を探究する	新たな創造を追究する
写真撮影に必要な基本の技 術、観察力を養う	TW 写真演習Ⅰ-1 必 <第1課題> 写真日記 TW 写真演習Ⅰ-2 必 <第1課題> 絞りとシャッター TW 写真演習Ⅰ-2 必 <第2課題> 露出補正 S 写真Ⅰ-3 必 写真原理／ピンホール S 写真Ⅱ-1 必 撮影基礎1			
観察力・思考力、それを形に する撮影と制作技術、それを 発展させる構成力・表現力を 身につける	S 写真Ⅰ-1 必 クリエイティブ	TW 写真演習Ⅱ-1 必 <第1課題> フォト・コラージュ S 写真Ⅲ-5 必 フォト・コラージュ		
写真撮影・制作機材の知識や 扱い方、技能を修得し、それ を自己の制作に活かす	S 写真Ⅰ-2 必 デジタル基礎 S 写真Ⅱ-2 必 撮影基礎2 S 写真Ⅱ-3 必 ライティング基礎	S 写真Ⅳ-1 必 デジタルフォト1	S 写真Ⅴ-2 必 プレゼンテーション S 写真Ⅴ-6 必 デジタルフォト2 S 写真Ⅴ-7 必 ライティング・アドバンス S 写真Ⅴ-14 必 デジタル・プレゼンテーション	
写真の歴史や作家・批評家な どに学び、プリントスタディ や模写や作品講評などを通し て構図や作品制作思想などを 体得する		S 写真Ⅲ-3 必 写真知見 S 写真Ⅳ-2 必 視る	S 写真Ⅴ-3 必 ワークショップ・ゼミナール S 写真Ⅴ-12 必 作品批評	TX 写真演習Ⅳ 必 <第1課題> 事例研究
人物を撮影して作品を制作し、 自己と他者の両面から人間像 について思考し作品化する	TW 写真演習Ⅰ-1 必 <第2課題> セルフポートレート	TW 写真演習Ⅱ-2 必 <第1課題> アザースポートレート		
風景・静物やスナップなどを 各自の現場で撮影し、対象と の対話を基に自己の写真表現を 考え、構成力・表現力を養う		S 写真Ⅲ-4 必 スナップ	TW 写真演習Ⅲ-2 必 <第1課題> スティル・ライフ (静物写真)	
特定の作品制作方法に倣うこ とにより、表現の幅を広げ、 自己の作品制作に結びつける			TW 写真演習Ⅲ-2 必 <第2課題> コンストラクティッドフォト (演出写真)	
構想力・表現力を駆使し、総 合的な力を結集させて自己の 思想や思いのこもった作品制 作に臨む		TW 写真演習Ⅱ-1 必 <第2課題> 作品制作 a TW 写真演習Ⅱ-2 必 <第2課題> 作品制作 b S 写真Ⅳ-3 必 ポートフォリオ	TW 写真演習Ⅲ-1 必 <第1課題> 作品ポートフォリオ1 TW 写真演習Ⅲ-1 必 <第2課題> 作品ポートフォリオ2	TX 写真演習Ⅳ 必 <第2課題> プレゼンテーション・ ポートフォリオ S 卒業制作1～6 必

5. 卒業制作着手要件・卒業要件

1. 卒業制作着手要件について

卒業制作に取り組む前年度末までに「卒業制作着手要件」（下記【1】）を満たせば、次年度以降、卒業制作に取り組めます。

- ・卒業制作着手判定や卒業判定、2023年度卒業予定者のスケジュール等はairU学習ガイド＞卒業予定者のスケジュールを参照してください。

卒業制作について

- ・卒業制作着手要件を満たせば、卒業年度の春期に、前半のスクーリング「卒業制作1、2」が受講できます。
- ・「卒業制作（3～6）の履修の前提条件」（下記【2】）を、秋期スクーリング申込の所定の時期（次項【3】）までに満たせば「卒業制作（3～6）」が受講できます。

卒業制作申込について

- ・「卒業制作」は前半（「卒業制作1～2」）、後半（「卒業制作3～6」）の2回申し込みが必要です。
 - ・「卒業制作1、2」…春期申込期間に2つ同時申し込み。
 - ・「卒業制作3～6」…秋期申込期間に4つ同時申し込み。
- ※スクーリング申込の注意点については本書p.23をご確認ください。

【1】卒業制作着手要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「写真演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「写真Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	90単位以上	3年以上在籍していること(休学期間を除く)
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上)	学部共通専門教育科目	8単位以上	
	コース専門演習T科目	8単位以上	「写真演習Ⅰ・Ⅱ」必修
	コース専門演習S科目	12単位以上	「写真Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」必修
	その他	(注1)	
	合計	32単位以上	1年以上在籍していること(休学期間を除く)

注1:「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門演習S科目、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

【2】「卒業制作（3～6）」の履修の前提条件

入学区分	科目群	科目
全て	コース専門演習T科目	「写真演習Ⅲ-1」を単位修得済または単位修得見込 「写真演習Ⅲ-2」を単位修得済または単位修得見込
	コース専門演習S科目	「写真Ⅴ-2～14」から4単位以上を単位修得済または単位修得見込 「卒業制作(1・2)」を履習中

- ・「卒業制作（3～6）の履修の前提条件」のコース専門演習T科目を、卒業制作に取り組む前年度末までに満たしておくと、着手年度は卒業制作に集中して取り組めるため、早めに前提条件を満たすことをお勧めします。

【3】「卒業制作（3～6）」受講申込時期と履修の前提条件の充足期日

【2】を下記「先行募集」「追加募集」いずれかの申込期間内に満たしていれば「卒業制作（3～6）」が申込できます。本科目の「追加募集」に定員はありません。

スクーリング 開催回	申込時期		テキスト課題の期日	スクーリングの期日	
			写真演習Ⅲ-1 写真演習Ⅲ-2	写真Ⅴ-2～14から4単位以上	卒業制作 1・2
秋期 (10～12月開講)	先行募集	8/17～8/25 【必着】	7月度(7/20【必着】)までに提出し、単位修得済または単位修得見込にすること	7月末までに単位修得済または単位修得見込にすること	履修中
	追加募集	9/9～10/2 【必着】	8月度(8/20【必着】)までに提出し、単位修得済または単位修得見込にすること	9月末までに単位修得済または単位修得見込にすること	

2. 卒業要件について

2023年度卒業予定の方は卒業関連科目（「卒業制作」「写真演習Ⅳ」）以外の科目を冬期（1月～3月）に履修することはできません。秋期（10月～12月）までに卒業関連科目以外の科目の履修を完了してください。特にTR科目は12月の単位修得試験を受験するには10月度にレポート提出し合格する必要があります。また、卒業制作はTX科目「写真演習Ⅳ」(4単位)とスクーリング科目「卒業制作」(6単位)を一括認定します。課題の一つ、あるいはスクーリングの一つでも合格できなければどちらの科目も単位修得できません。

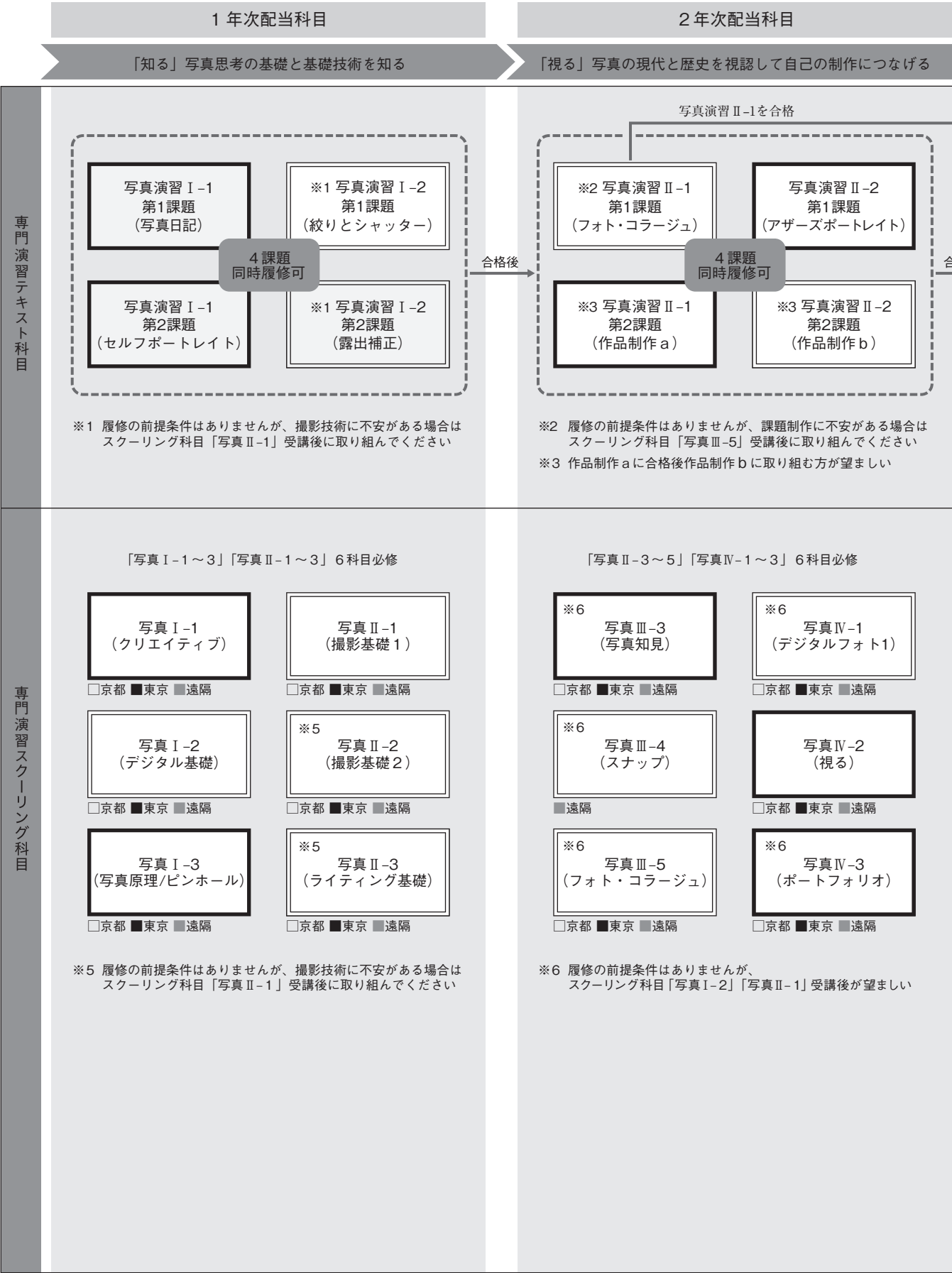
【1】卒業要件

入学区分(卒業要件)	科目群	修得すべき単位数	備考
1年次入学 (124単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	20単位以上	
	コース専門演習T科目	16単位	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位	「写真Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修
	その他	(注1)	
	合計	124単位以上	S科目(WS・S・GS)30単位以上
3年次編入学 (62単位以上・ 専門52単位以上)	総合教育科目	指定なし	
	学部共通専門教育科目	12単位以上	
	コース専門演習T科目	16単位	すべての科目が必修
	コース専門演習S科目	24単位	「写真Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」「卒業制作」必修
	その他	(注1)	
	合計	62単位以上	

注1：「その他」については、総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択し合計単位数を満たすこと。

6. 履修条件図

コース専門演習テキスト科目、コース専門演習スクーリング科目について、配当年次および履修条件を記載しています。



…主に写真表現における思考力を培う科目

…主に写真技術や技法を習得する科目

3 年次配当科目

「拡げる」思考と制作方向を拡げ、知識とスキルの連携で方向を見定める

2 科目同時履修可

※4 写真演習Ⅲ-1
第1 課題
(作品ポートフォリオ 1)

↓ 合格後

※4 写真演習Ⅲ-1
第2 課題
(作品ポートフォリオ 2)

写真演習Ⅲ-2
第1 課題
(スチール・ライフ (静物写真))

2 課題
同時履修可

写真演習Ⅲ-2
第2 課題
(コンストラクティブフォト(演出写真))

※4 履修の前提条件はありませんが、技術に不安がある場合はスクーリング科目「写真Ⅴ-3」「写真Ⅴ-12」受講後に取り組んでください

「写真Ⅴ-2～14」6 科目必修 ※9

※5 写真Ⅴ-2
(プレゼンテーション)

■遠隔

※5 写真Ⅴ-3
(ワークショップ・ゼミナール)

□京都 ■東京 ■遠隔

※7 写真Ⅴ-6
(デジタルフォト2)

□京都 ■東京 ■遠隔

写真Ⅴ-12
(作品批評)

□京都 ■東京 ■遠隔

※8 写真Ⅴ-7
(ライティング・アドバンス)

□京都 ■東京 ■遠隔

写真Ⅴ-14
(デジタル・プレゼンテーション)

□京都 ■東京 ■遠隔

写真Ⅴ-4,Ⅴ-8,Ⅴ-9,Ⅴ-11,Ⅴ-13は閉講済み

※7 スクーリング科目「写真Ⅳ-1」受講後が望ましい

※8 スクーリング科目「写真Ⅱ-3」受講後が望ましい

※9 2021年度以前に入学された方はP.16の「[8.コース専門教育科目一覧]」をご確認ください

4 年次配当科目

「構築する」完成させる

「写真演習Ⅳ」、「卒業制作」一括認定

※10 写真演習Ⅳ
第1 課題
(事例研究)

↓ 合格後

※10 写真演習Ⅳ
第2 課題
(プレゼンテーション・ポートフォリオ)

※10 前年度までに「卒業制作着手要件 (本書 P8～P9 参照)」の前提条件を満たしていること

卒業制作 1
テーマ研究

■遠隔

卒業制作 2
テーマ審査 / 計画発表

□京都 ■東京 ■遠隔

↓ 「卒業制作 3～6」の履修の前提条件クリア

※11 卒業制作 3

□京都 ■東京 ■遠隔

※11 卒業制作 4
中間審査

□京都 ■東京 ■遠隔

※11 卒業制作 5

□京都 ■東京 ■遠隔

※11 卒業制作 6
最終審査

□京都 ■東京 ■遠隔

※11 スクーリング申込までに「卒業制作 3～6 (本書 P8～P9 参照)」の履修の前提条件を満たしていること

7. スクーリング日程一覧

2023 年度に開講を予定しているスクーリングです。日程が追加・変更となる場合があります。
月をまたがって開講されるスクーリングの場合、スクーリング初日の月を開講月とします。
※スクーリング科目は先行募集期間までに履修の前提条件を満たせなかった場合、追加募集で申し込むことができます。
ただし、追加募集は先行募集で定員に達した場合は募集を行いません。また、申込期間内であっても定員に達した時点で募集を締め切りますので、ご注意ください。

1 年次配当科目 必修 6 科目 (6 単位)

配当年次	開講科目	スクーリング名称	単位	会場	日 程	申込期
1 年次	写真 I - 1	写真I-1(クリエイティブ) T1	1	東京■	7/8 (土) ~ 7/9 (日)	夏期
		写真I-1(クリエイティブ) K1	1	京都	9/2 (土) ~ 9/3 (日)	夏期
		写真I-1(クリエイティブ) E1	1	遠隔	9/9 (土) ~ 9/10 (日)	夏期
	写真 I - 2	写真I-2(デジタル基礎) E1	1	遠隔	6/3 (土) ~ 6/4 (日)	春期
		写真I-2(デジタル基礎) T1	1	東京■	6/17 (土) ~ 6/18 (日)	春期
		写真I-2(デジタル基礎) K1	1	京都	6/24 (土) ~ 6/25 (日)	春期
	写真 I - 3	写真I-3(写真原理/ピンホール) T1	1	東京■	5/20 (土) ~ 5/21 (日)	春期
		写真I-3(写真原理/ピンホール) K1	1	京都	5/27 (土) ~ 5/28 (日)	春期
		写真I-3(写真原理/ピンホール) E1	1	遠隔	7/1 (土) ~ 7/2 (日)	夏期
	写真 II - 1	写真II-1(撮影基礎1) K1	1	京都	5/20 (土) ~ 5/21 (日)	春期
		写真II-1(撮影基礎1) T1	1	東京■	5/27 (土) ~ 5/28 (日)	春期
		写真II-1(撮影基礎1) E1	1	遠隔	6/10 (土) ~ 6/11 (日)	春期
	写真 II - 2	写真II-2(撮影基礎2) K1	1	京都	9/30 (土) ~ 10/1 (日)	夏期
		写真II-2(撮影基礎2) E1	1	遠隔	10/14 (土) ~ 10/15 (日)	秋期
		写真II-2(撮影基礎2) T1	1	東京■	10/28 (土) ~ 10/29 (日)	秋期
	写真 II - 3	写真II-3(ライティング基礎) K1	1	京都	11/11 (土) ~ 11/12 (日)	秋期
		写真II-3(ライティング基礎) T1	1	東京■	12/2 (土) ~ 12/3 (日)	秋期
		写真II-3(ライティング基礎) E1	1	遠隔	12/9 (土) ~ 12/10 (日)	秋期

2 年次配当科目 必修 6 科目 (6 単位)

配当年次	開講科目	スクーリング名称	単位	会場	日 程	申込期
2 年次	写真 III - 3	写真III-3(写真知見) K1	1	京都	12/23 (土) ~ 12/24 (日)	秋期
		写真III-3(写真知見) E1	1	遠隔	2024/1/20 (土) ~ 1/21 (日)	冬期
		写真III-3(写真知見) T1	1	東京■	2024/3/2 (土) ~ 3/3 (日)	冬期
	写真 III - 4	写真III-4(スナップ) E1	1	遠隔	9/30 (土) ~ 10/1 (日)	夏期
		写真III-4(スナップ) E2	1	遠隔	10/7 (土) ~ 10/8 (日)	秋期
		写真III-4(スナップ) E3	1	遠隔	10/21 (土) ~ 10/22 (日)	秋期
	写真 III - 5	写真III-5(フォト・コラージュ) T1	1	東京■	7/1 (土) ~ 7/2 (日)	夏期
		写真III-5(フォト・コラージュ) K1	1	京都	7/15 (土) ~ 7/16 (日)	夏期
		写真III-5(フォト・コラージュ) E1	1	遠隔	7/22 (土) ~ 7/23 (日)	夏期
	写真 IV - 1	写真IV-1(デジタルフォト1) K1	1	京都	12/16 (土) ~ 12/17 (日)	秋期
		写真IV-1(デジタルフォト1) T1	1	東京■	12/23 (土) ~ 12/24 (日)	秋期
		写真IV-1(デジタルフォト1) E1	1	遠隔	2024/1/27 (土) ~ 1/28 (日)	冬期
	写真 IV - 2	写真IV-2(視る) E1	1	遠隔	10/28 (土) ~ 10/29 (日)	秋期
		写真IV-2(視る) T1	1	東京■	11/4 (土) ~ 11/5 (日)	秋期
		写真IV-2(視る) K1	1	京都	11/25 (土) ~ 11/26 (日)	秋期
	写真 IV - 3	写真IV-3(ポートフォリオ) K1	1	京都	11/4 (土) ~ 11/5 (日)	秋期
		写真IV-3(ポートフォリオ) T1	1	東京■	11/11 (土) ~ 11/12 (日)	秋期
		写真IV-3(ポートフォリオ) E1	1	遠隔	11/18 (土) ~ 11/19 (日)	秋期

3 年次配当科目 必修6科目 (6単位)

※2020年度以前に入学の学生は「写真V-2、3」必修2科目、「写真V-6～14」より選択必修4科目 (合計6単位)

配当年次	開講科目	スクーリング名称	単位	会場	日 程	申込期
3 年次	写真V-2	写真V-2(プレゼンテーション)E1	1	遠隔	4/15 (土)～4/16 (日)	春期
		写真V-2(プレゼンテーション)E2	1	遠隔	4/22 (土)～4/23 (日)	春期
		写真V-2(プレゼンテーション)E3	1	遠隔	5/6 (土)～5/7 (日)	春期
	写真V-3	写真V-3 (ワークショップ・ゼミナール)K1	1	京都	9/30 (土)～10/1 (日)	夏期
		写真V-3 (ワークショップ・ゼミナール)E1	1	遠隔	10/21 (土)～10/22 (日)	秋期
		写真V-3 (ワークショップ・ゼミナール)T1	1	東京■	10/28 (土)～10/29 (日)	秋期
	写真V-6	写真V-6(デジタルフォト2)T1	1	東京■	4/29 (土)～4/30 (日)	春期
		写真V-6(デジタルフォト2)K1	1	京都	5/13 (土)～5/14 (日)	春期
		写真V-6(デジタルフォト2)E1	1	遠隔	5/27 (土)～5/28 (日)	春期
	写真V-7	写真V-7(ライティング・アドバンス)K1	1	京都	6/24 (土)～6/25 (日)	春期
		写真V-7(ライティング・アドバンス)E1	1	遠隔	7/8 (土)～7/9 (日)	夏期
		写真V-7(ライティング・アドバンス)T1	1	東京■	7/29 (土)～7/30 (日)	夏期
	写真V-12	写真V-12(作品批評)T1	1	東京■	6/3 (土)～6/4 (日)	春期
		写真V-12(作品批評)K1	1	京都	6/10 (土)～6/11 (日)	春期
		写真V-12(作品批評)E1	1	遠隔	6/17 (土)～6/18 (日)	春期
	写真V-14	写真V-14(デジタル・プレゼンテーション)K1	1	京都	11/18 (土)～11/19 (日)	秋期
		写真V-14(デジタル・プレゼンテーション)T1	1	東京■	11/25 (土)～11/26 (日)	秋期
		写真V-14(デジタル・プレゼンテーション)E1	1	遠隔	12/2 (土)～12/3 (日)	秋期

4 年次配当科目 必修科目6単位

配当年次	開講科目	スクーリング名称	単位	会場	日 程	申込期
4 年次	卒業制作	卒業制作 1E1	1	遠隔	5/13 (土)～5/14 (日)	春期
		卒業制作 1E2	1	遠隔	5/20 (土)～5/21 (日)	
		卒業制作 2T1	1	東京■	7/15 (土)～7/16 (日)	
		卒業制作 2E1	1	遠隔	7/15 (土)～7/16 (日)	
		卒業制作 2K1	1	京都	7/22 (土)～7/23 (日)	
		卒業制作 2E2	1	遠隔	7/22 (土)～7/23 (日)	
		卒業制作 3T1	1	東京■	10/7 (土)～10/8 (日)	秋期
		卒業制作 3E1	1	遠隔	10/7 (土)～10/8 (日)	
		卒業制作 3K1	1	京都	10/7 (土)～10/8 (日)	
		卒業制作 3E2	1	遠隔	10/7 (土)～10/8 (日)	
		卒業制作 4T1	1	東京■	11/4 (土)～11/5 (日)	
		卒業制作 4E1	1	遠隔	11/4 (土)～11/5 (日)	
		卒業制作 4K1	1	京都	11/11 (土)～11/12 (日)	
		卒業制作 4E2	1	遠隔	11/11 (土)～11/12 (日)	
		卒業制作 5T1	1	東京■	12/9 (土)～12/10 (日)	
		卒業制作 5E1	1	遠隔	12/9 (土)～12/10 (日)	
		卒業制作 5K1	1	京都	12/16 (土)～12/17 (日)	
		卒業制作 5E2	1	遠隔	12/16 (土)～12/17 (日)	
		卒業制作 6T1	1	東京■	2024/1/20 (土)～1/21 (日)	
		卒業制作 6E1	1	遠隔	2024/1/20 (土)～1/21 (日)	
		卒業制作 6K1	1	京都	2024/1/27 (土)～1/28 (日)	
		卒業制作 6E2	1	遠隔	2024/1/27 (土)～1/28 (日)	

※卒業制作申込の注意点については、本書 p.23 をご確認ください。

8. スクーリング日程表

申込期	日 程	写真Ⅰ-1～Ⅱ-3			写真Ⅲ-1～Ⅳ-3		
		1年次			2年次		
		京都	東京	遠隔	京都	東京	遠隔
春期 (4～6月) 3/27～ 3/30	4/1(土)～4/2(日)						
	4/8(土)～4/9(日)						
	4/15(土)～4/16(日)						
	4/22(土)～4/23(日)						
	4/29(土)～4/30(日)						
	5/6(土)～5/7(日)						
	5/13(土)～5/14(日)						
	5/20(土)～5/21(日)	写真Ⅱ-1 (撮影基礎1)K1	写真Ⅰ-3 (写真原理/ビジュアル)T1				
	5/27(土)～5/28(日)	写真Ⅰ-3 (写真原理/ビジュアル)K1	写真Ⅱ-1 (撮影基礎1)T1				
	6/3(土)～6/4(日)			写真Ⅰ-2 (デジタル基礎)E1			
	6/10(土)～6/11(日)			写真Ⅱ-1 (撮影基礎1)E1			
	6/17(土)～6/18(日)		写真Ⅰ-2 (デジタル基礎)T1				
	6/24(土)～6/25(日)	写真Ⅰ-2 (デジタル基礎)K1					
夏期 (7～9月) 5/17～ 5/25	7/1(土)～7/2(日)			写真Ⅰ-3 (写真原理/ビジュアル)E1		写真Ⅲ-5 (フォトコラージュ)T1	
	7/8(土)～7/9(日)		写真Ⅰ-1 (クリエイティブ)T1				
	7/15(土)～7/16(日)				写真Ⅲ-5 (フォトコラージュ)K1		
	7/22(土)～7/23(日)						写真Ⅲ-5 (フォトコラージュ)E1
	7/29(土)～7/30(日)						
	8/5(土)～8/6(日)						
	8/12(土)～8/13(日)						
	8/19(土)～8/20(日)						
	8/26(土)～8/27(日)						
	9/2(土)～9/3(日)	写真Ⅰ-1 (クリエイティブ)K1					
	9/9(土)～9/10(日)			写真Ⅰ-1 (クリエイティブ)E1			
	9/16(土)～9/17(日)						
	9/23(土)～9/24(日)						
	9/30(土)～10/1(日)	写真Ⅱ-2 (撮影基礎2)K1					写真Ⅲ-4 (スナップ)E1
秋期 (10～12月) 8/17～ 8/25	10/7(土)～10/8(日)						写真Ⅲ-4 (スナップ)E2
	10/14(土)～10/15(日)			写真Ⅱ-2 (撮影基礎2)E1			
	10/21(土)～10/22(日)						写真Ⅲ-4 (スナップ)E3
	10/28(土)～10/29(日)		写真Ⅱ-2 (撮影基礎2)T1				写真Ⅳ-2 (視る)E1
	11/4(土)～11/5(日)				写真Ⅳ-3 (ポートフォリオ)K1	写真Ⅳ-2 (視る)T1	
	11/11(土)～11/12(日)	写真Ⅱ-3 (ライティング基礎)K1				写真Ⅳ-3 (ポートフォリオ)T1	
	11/18(土)～11/19(日)						写真Ⅳ-3 (ポートフォリオ)E1
	11/25(土)～11/26(日)				写真Ⅳ-2 (視る)K1		
	12/2(土)～12/3(日)		写真Ⅱ-3 (ライティング基礎)T1				
	12/9(土)～12/10(日)			写真Ⅱ-3 (ライティング基礎)E1			
	12/16(土)～12/17(日)				写真Ⅳ-1 (デジタルフォト)K1		
	12/23(土)～12/24(日)				写真Ⅲ-3 (写真知見)K1	写真Ⅳ-1 (デジタルフォト)T1	
	12/30(土)～12/31(日)						
冬期 (1～3月) 11/17～ 11/25	1/6(土)～1/7(日)						
	1/13(土)～1/14(日)						
	1/20(土)～1/21(日)						写真Ⅲ-3 (写真知見)E1
	1/27(土)～1/28(日)						写真Ⅳ-1 (デジタルフォト)E1
	2/3(土)～2/4(日)						
	2/10(土)～2/11(日)						
	2/17(土)～2/18(日)						
	2/24(土)～2/25(日)						
	3/2(土)～3/3(日)					写真Ⅲ-3 (写真知見)T1	

- ・各申込スケジュールは学習ガイド＞学習方法＞スクーリング科目(S)>スクーリング申込スケジュールにてご確認ください。
- ・申込は申込締切日 13:00 まで。

写真V-2～V-14			卒業制作			日 程	申込期
3年次			4年次				
京 都	東 京	遠 隔	京 都	東 京	遠 隔		
						4/1(土)～4/2(日)	春期 (4～6月) 3/27～ 3/30
						4/8(土)～4/9(日)	
		写真V-2 (プレゼンテーション)E1	「卒業制作1、2」の先行申込は 3月27日(月)13:00～3月30日(木)13:00です。			4/15(土)～4/16(日)	
		写真V-2 (プレゼンテーション)E2				4/22(土)～4/23(日)	
	写真V-6 (デジタルフォト2) T1					4/29(土)～4/30(日)	
		写真V-2 (プレゼンテーション)E3				5/6(土)～5/7(日)	
写真V-6 (デジタルフォト2) K1					卒業制作1E1	5/13(土)～5/14(日)	
					卒業制作1E2	5/20(土)～5/21(日)	
		写真V-6 (デジタルフォト2) E1				5/27(土)～5/28(日)	
	写真V-12 (作品批評) T1					6/3(土)～6/4(日)	
写真V-12 (作品批評) K1						6/10(土)～6/11(日)	
		写真V-12(作品批評) E1				6/17(土)～6/18(日)	
写真V-7 (ライティングアドバンス) K1						6/24(土)～6/25(日)	
						7/1(土)～7/2(日)	夏期 (7～9月) 5/17～ 5/25
		写真V-7 (ライティングアドバンス) E1				7/8(土)～7/9(日)	
				卒業制作2T1	卒業制作2E1	7/15(土)～7/16(日)	
			卒業制作2K1		卒業制作2E2	7/22(土)～7/23(日)	
	写真V-7 (ライティングアドバンス) T1					7/29(土)～7/30(日)	
						8/5(土)～8/6(日)	
						8/12(土)～8/13(日)	
						8/19(土)～8/20(日)	
						8/26(土)～8/27(日)	
						9/2(土)～9/3(日)	
						9/9(土)～9/10(日)	
						9/16(土)～9/17(日)	
						9/23(土)～9/24(日)	
写真V-3 (ワークショップアドバンス) K1						9/30(土)～10/1(日)	
			卒業制作3K1	卒業制作3T1	卒業制作3E1/卒業制作3E2	10/7(土)～10/8(日)	秋期 (10～12月) 8/17～ 8/25
						10/14(土)～10/15(日)	
		写真V-3 (ワークショップアドバンス) E1				10/21(土)～10/22(日)	
	写真V-3 (ワークショップアドバンス) T1					10/28(土)～10/29(日)	
				卒業制作4T1	卒業制作4E1	11/4(土)～11/5(日)	
			卒業制作4K1		卒業制作4E2	11/11(土)～11/12(日)	
写真V-14 (デジタルプレゼンテーション) K1						11/18(土)～11/19(日)	
	写真V-14 (デジタルプレゼンテーション) T1					11/25(土)～11/26(日)	
		写真V-14 (デジタルプレゼンテーション) E1				12/2(土)～12/3(日)	
				卒業制作5T1	卒業制作5E1	12/9(土)～12/10(日)	
			卒業制作5K1		卒業制作5E2	12/16(土)～12/17(日)	
						12/23(土)～12/24(日)	
						12/30(土)～12/31(日)	冬期 (1～3月) 11/17～ 11/25
						1/6(土)～1/7(日)	
						1/13(土)～1/14(日)	
				卒業制作6T1	卒業制作6E1	1/20(土)～1/21(日)	
			卒業制作6K1		卒業制作6E2	1/27(土)～1/28(日)	
						2/3(土)～2/4(日)	
						2/10(土)～2/11(日)	
						2/17(土)～2/18(日)	
						2/24(土)～2/25(日)	
						3/2(土)～3/3(日)	

※ 1) 「卒業制作 1、2」は春期 (4 ～ 6 月) 開講分の申込期間にて 2 科目をまとめて申し込み。

※ 2) 「卒業制作 3 ～ 6」は秋期 (10 ～ 12 月) 開講分の申込期間にて 4 科目をまとめて申し込み。

9. コース専門教育科目一覧

卒業要件等に関しては、本書pp.8～9をご確認ください。
編入学生の卒業要件は「入学許可証・卒業要件通知」で必ず確認してください。

科目一覧						卒業要件				配当年次 (注1)	
科目群	科目区分	科目コード	科目名	サブタイトル	単位数	S/T	2021年度以降入学		2020年度以前入学		
							1年次入学	3年次編入学	1年次入学		3年次編入学
							124単位以上 S科目(WS・S・GS) 30単位以上	62単位以上 (専門52単位以上)	124単位以上 S科目(WS・S・GS) 30単位以上		62単位以上 (専門52単位以上)
専門教育科目	学部共通専門教育科目	(注2)			合計		20単位以上	12単位以上	20単位以上	12単位以上	1年次～
	コース専門演習Ⅰ科目	66601	写真演習Ⅰ-1	写真日記／セルフポートレイト	2	TW	●	●	●	●	1年次～
		66602	写真演習Ⅰ-2	絞りとシャッター／露出補正	2	TW	●	●	●	●	1年次～
		66603	写真演習Ⅱ-1	コラージュ／作品制作a	2	TW	●	●	●	●	2年次～
		66604	写真演習Ⅱ-2	アザーズポートレイト／作品制作b	2	TW	●	●	●	●	2年次～
		66605	写真演習Ⅲ-1	作品ポートフォリオ1・2	2	TW	●	●	●	●	3年次～
		66606	写真演習Ⅲ-2	スタイル・ライフ（静物写真）／ コンストラクティッドフォト（演出写真）	2	TW	●	●	●	●	3年次～
		66607	写真演習Ⅳ	事例研究／プレゼンテーション・ポートフォリオ	4	TX	●	●	●	●	4年次
				合 計			16単位	16単位	16単位	16単位	
	コース専門演習Ⅱ科目	66001	写真Ⅰ-1	クリエイティブ	1	S	●	●	●	●	1年次～
		66002	写真Ⅰ-2	デジタル基礎	1	S	●	●	●	●	
		66003	写真Ⅰ-3	写真原理／ピンホール	1	S	●	●	●	●	
		66004	写真Ⅱ-1	撮影基礎1	1	S	●	●	●	●	
		66005	写真Ⅱ-2	撮影基礎2	1	S	●	●	●	●	
		66006	写真Ⅱ-3	ライティング基礎	1	S	●	●	●	●	
		66009	写真Ⅲ-3	写真知見	1	S	●	●	●	●	2年次～
		66031	写真Ⅲ-4	スナップ	1	S	●	●	●	●	
		66032	写真Ⅲ-5	フォト・コラージュ	1	S	●	●	●	●	
		66034	写真Ⅳ-1	デジタルフォト1	1	S	●	●	●	●	
		66035	写真Ⅳ-2	視る	1	S	●	●	●	●	
		66036	写真Ⅳ-3	ポートフォリオ	1	S	●	●	●	●	
		66041	写真Ⅴ-2	プレゼンテーション	1	S	●	●	●	●	3年次～
		66042	写真Ⅴ-3	ワークショップ・ゼミナール	1	S	●	●	●	●	
		66045	写真Ⅴ-6	デジタルフォト2	1	S	●	●	いずれか4科目を選択 必修		
		66046	写真Ⅴ-7	ライティング・アドバンス	1	S	●	●			
			写真Ⅴ-8	白黒プリント※2020年度まで開講	1	S					
			写真Ⅴ-9	フィールドワーク※2018年度まで開講	1	S					
		66051	写真Ⅴ-12	作品批評	1	S	●	●			
			写真Ⅴ-13	写真構想※2016年度まで開講	1	S					
		66053	写真Ⅴ-14	デジタル・プレゼンテーション	1	S	●	●			
		66091	卒業制作(写真)		6	S	●	●	●	●	4年次
				合 計			24単位	24単位	24単位	24単位	
その他	総合教育科目、学部共通専門教育科目、資格関連科目などから自由に選択。										
総 合 計							124単位以上	62単位以上	124単位以上	62単位以上	

TW：テキスト作品科目、 TX：テキスト特別科目、 S：スクーリング科目、 ●：必修科目
注1）配当年次：履修のための前提条件であり、その年次に到達しないと履修はできません。さらに、科目に履修の前提条件がある場合は、その条件を満たす必要があります。
注2）2019年度入学生まで卒業要件であった「造形基礎演習1・2」は2023年度より卒業要件ではなくなりました。

10. 履修モデル

※履修スケジュールの詳細は、各科目のシラバスを確認すること

1年次入学生年間履修モデル

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

(注1) TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目
S：スクーリング科目 WS：ウェブスクーリング科目 GS：藝術学舎科目 ※本書 p.6 参照

(注2) ●＝必修科目 [必ず単位を修得することが求められる科目]
○＝選択必修科目 [いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目]
空白＝選択科目

(注3) 選択科目については一例です。シラバス、藝術学舎パンフレットで以下を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。

(注4) 開講形態は対面と遠隔があります。スクーリング日程は主に東京会場または遠隔日程で組んでいます。他遠隔日程または京都会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。

1 年 目																		
科目群・区分		科目名	単 位 数	履 修 形 態 (注1)	必修 選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		ことばと表現	1	TR			レポート		試験									
		デッサン	2	TW						第1課題								
		はじめての共通科目	1	S				初回提出	中間講評	最終提出								
		身体と表現	2	S									初回提出	中間講評	最終提出			
		数と世界	2	S									初回提出	中間講評	最終提出			
		文学研究への階段	1	S							2日間							
		入門デッサン3	1	S										2日間				
専門教育科目	学部共通 専門 教育科目 (注3)	美学概論	2	TR											レポート		試験	
		写真論1	2	TR								レポート		試験				
		写真論2	2	TR											レポート		試験	
		コラージュ・デッサン	2	TW						第1課題								
		芸術史講義(近現代)1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴				
		芸術史講義(近現代)2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴	
		著作権を学ぶ	1	S					2日間									
		学芸専門講義1	1	GS													GS	
	コース専門 演習T科目	写真演習Ⅰ-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題								
		写真演習Ⅰ-2	2	TW	●	●				第1課題		第2課題						
	コース 専門演習 S科目 (注4)	写真Ⅰ-1	1	S	●	●					2日間							
		写真Ⅰ-2	1	S	●	●			2日間									
		写真Ⅰ-3	1	S	●	●			2日間									
		写真Ⅱ-1	1	S	●	●		2日間										
		写真Ⅱ-2	1	S	●	●						2日間						
		写真Ⅱ-3	1	S	●	●								2日間				
1年目の修得単位数			34															

2年目																		
科目群・区分		科目名	単位数	履修 形態 (注1)	必修 選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)		地域を探索	2	TR						レポート		試験						
		政治学	2	TR												レポート		試験
		文化研究3	2	TR									レポート		試験			
		映画研究への階段	1	S											2日間			
		哲学への階段	1	S											2日間			
		学芸基礎講義2	1	GS							GS							
		学芸基礎講義3	1	GS													GS	
専門教育科目	学部共通 専門 教育科目 (注3)	地域芸術実践2	2	TX								レポート		試験				
		立体造形演習1	2	TW			第1課題											
		立体造形演習2	2	TW					第1課題									
		芸術史講義(ヨーロッパ)1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴									
		芸術史講義(ヨーロッパ)2	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴							
		芸術史講義(アジア)1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴				
		芸術史講義(アジア)2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴	
	コース専門 演習T科目	写真演習Ⅱ-1	2	TW	●	●	第1課題	第2課題										
		写真演習Ⅱ-2	2	TW	●	●			第1課題	第2課題								
	コース 専門演習 S科目 (注4)	写真Ⅲ-3	1	S	●	●										2日間		
		写真Ⅲ-4	1	S	●	●							2日間					
		写真Ⅲ-5	1	S	●	●			2日間									
		写真Ⅳ-1	1	S	●	●									2日間			
		写真Ⅳ-2	1	S	●	●								2日間				
		写真Ⅳ-3	1	S	●	●								2日間				
2年目の修得単位数			34															

3年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	都市デザイン論	2	TR						レポート		試験						
	文化研究2	2	TR						レポート		試験						
	京都を学ぶ	2	TR												レポート		試験
	地域環境論	2	TR									レポート		試験			
	都市環境への階段	1	S												2日間		
	学芸基礎講義4	1	GS				GS										
学部共通 専門 教育科目 (注3)	マーケティング概論	2	TR									レポート		試験			
	形態表現基礎	2	TW						第1課題								
	色彩表現基礎	2	TW									第1課題					
	芸術史講義(日本)1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴									
	芸術史講義(日本)2	2	WS												動画視聴	レポート	講評視聴
	芸術史講義(近現代)3	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴									
	芸術史講義(近現代)4	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴						
	写真演習Ⅲ-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題								
	写真演習Ⅲ-2	2	TW	●	●				第1課題			第2課題					
	写真Ⅴ-2	1	S	●	●	2日間											
	写真Ⅴ-3	1	S	●	●							2日間					
	写真Ⅴ-6	1	S	●	○		2日間										
コース専門 演習T科目	写真Ⅴ-7	1	S	●	○				2日間								
	写真Ⅴ-12	1	S	●	○			2日間									
	写真Ⅴ-14	1	S	●	○							2日間					
	写真Ⅴ-2	1	S	●	●	2日間											
	写真Ⅴ-3	1	S	●	●							2日間					
	写真Ⅴ-6	1	S	●	○		2日間										
コース専門 演習S科目 (注4)	写真Ⅴ-7	1	S	●	○				2日間								
	写真Ⅴ-12	1	S	●	○			2日間									
	写真Ⅴ-14	1	S	●	○							2日間					
	写真Ⅴ-2	1	S	●	●	2日間											
	写真Ⅴ-3	1	S	●	●							2日間					
	写真Ⅴ-6	1	S	●	○		2日間										
3年目の修得単位数			34	※翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手要件を満たす必要があります。													

4年目																	
科目群・区分	科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	学際的な知への案内	2	TR			レポート		試験							卒業制作着手者は冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。		
	日本の憲法	2	TR			レポート		試験									
	社会学	2	TR									レポート		試験			
	民俗学への階段	1	S							2日間							
	学芸基礎講義5	1	GS					GS									
学部共通 専門 教育科目 (注3)	ブランディングデザイン論	2	TR			レポート		試験									
	芸術史講義(ヨーロッパ)3	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴									
	芸術史講義(ヨーロッパ)4	2	WS						動画視聴	レポート	講評視聴						
	写真演習Ⅳ	4	TX	●	●			第1課題					第2課題				
	卒業制作	6	S	●	●		2日間		2日間			2日間	2日間	2日間	2日間		
4年目の修得単位数			24														

4年間の合計			126 単位 (うち S65 単位)	総合教育科目 : 38 単位 学部共通専門教育科目 : 48 単位 コース専門演習T科目 : 16 単位 コース専門演習S科目 : 24 単位													
--------	--	--	--------------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※卒業制作着手年度、卒業関連科目以外の科目を冬期に履修することはできません。

3年次編入学生履修モデル〔卒業要件62単位以上・専門52単位以上〕

入学区分に応じた履修モデルを紹介します。参考にしながら履修プランを立ててみましょう。

(注1) TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目
S：スクーリング科目 WS：ウェブスクーリング科目 GS：藝術学舎科目 ※本書 p.6 参照

(注2) ●＝必修科目〔必ず単位を修得することが求められる科目〕
○＝選択必修科目〔いずれかを選択して必要な単位数を修得することが求められる科目〕
空白＝選択科目

(注3) 選択科目については一例です。シラバス、藝術学舎パンフレットで以下を確認し専門教育科目の履修にあわせて計画を立ててください。

(注4) 開講形態は対面と遠隔があります。スクーリング日程は主に京都会場または遠隔日程で組んでいます。他遠隔日程または東京会場で受講される方はスケジュールをご確認ください。

1年目																	
科目群・区分	科目名	単 位 数	履 修 形 態 (注1)	必修 選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期		
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合教育科目 (注3)	ことばと表現	1	TR						レポート		試験						
	論述基礎	2	TR									レポート		試験			
	はじめての共通科目	1	S			初回提出	中間講評	最終提出									
	伝統芸術基礎（伝統芸能）	1	S												2日間		
専門教育科目	学部共通 専門 教育科目 (注3)	写真論1	2	TR					レポート		試験						
		写真論2	2	TR								レポート		試験			
		コラージュ・デッサン	2	TW									第1課題				
		芸術史講義（近現代）1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴								
		芸術史講義（近現代）2	2	WS											動画視聴	レポート	講評視聴
	コース専門 演習Ⅰ科目	写真演習Ⅰ-1	2	TW	●	●		第1課題		第2課題							
		写真演習Ⅰ-2	2	TW	●	●				第1課題	第2課題						
		写真演習Ⅱ-1	2	TW	●	●						第1課題	第2課題				
		写真演習Ⅱ-2	2	TW	●	●							第1課題		第2課題		
	コース 専門演習 Ⅱ科目 (注4)	写真Ⅰ-1	1	S	●	●						2日間					
		写真Ⅰ-2	1	S	●	●			2日間								
		写真Ⅰ-3	1	S	●	●		2日間									
		写真Ⅱ-1	1	S	●	●		2日間									
		写真Ⅱ-2	1	S	●	●					2日間						
		写真Ⅱ-3	1	S	●	●							2日間				
		写真Ⅲ-3	1	S	●	●								2日間			
		写真Ⅲ-4	1	S	●	●						2日間					
		写真Ⅲ-5	1	S	●	●			2日間								
		写真Ⅳ-1	1	S	●	●									2日間		
写真Ⅳ-2		1	S	●	●						2日間						
写真Ⅳ-3		1	S	●	●							2日間					
1年目の修得単位数		35	※翌年度、卒業制作に着手するためには、卒業制作着手仮要件を満たす必要があります。														

2年目																					
科目群・区分		科目名	単位数	履修形態 (注1)	必修 選択 (注2) 2021年度 以降入学	必修 選択 (注2) 2020年度 以前入学	春期			夏期			秋期			冬期					
							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
総合教育科目 (注3)		都市デザイン論	2	TR						レポート		試験				卒業制作着手者は冬期に卒業関連科目以外の履修ができません。					
専門教育科目	学部共通 専門 教育科目 (注3)	芸術史講義（アジア）1	2	WS			動画視聴	レポート	講評視聴												
		芸術史講義（アジア）2	2	WS					動画視聴	レポート	講評視聴										
		芸術史講義（ヨーロッパ）1	2	WS								動画視聴	レポート	講評視聴							
	コース専門 演習T科目	写真演習Ⅲ-1	2	TW	●	●	第1課題	第2課題													
		写真演習Ⅲ-2	2	TW	●	●	第1課題	第2課題													
		写真演習Ⅳ	4	TX	●	●			第1課題					第2課題							
	コース 専門演習 S科目 (注4)	写真Ⅴ-2	1	S	●	●	2日間														
		写真Ⅴ-3	1	S	●	●						2日間									
		写真Ⅴ-6	1	S	●	○		2日間													
		写真Ⅴ-7	1	S	●	○			2日間												
写真Ⅴ-12		1	S	●	○			2日間													
写真Ⅴ-14		1	S	●	○								2日間								
卒業制作		6	S	●	●		2日間		2日間			2日間	2日間	2日間	2日間						
2年目の修得単位数			28																		

2年間の合計	63 単位 (うち S34 単位)	総合教育科目	： 7 単位	コース専門演習T科目： 16 単位
		学部共通専門教育科目	： 16 単位	コース専門演習S科目： 24 単位

※卒業年度は、卒業関連科目以外の科目を冬期に履修することはできません。

11. 専門演習テキスト科目 (TW・TX)

テキスト科目について

テキスト科目は自宅で作品制作を行う科目です。自宅でairUマイページにてシラバスを確認の上、参考資料やairUで提供されるweb教材、参考作品などをもとに学習し作品を完成させます。通信教育部ではテキスト科目が中心的な授業であり、対面授業であるスクーリングで学んだ内容などを活かしながらシラバスに記載の課題に取り組みます。完成した作品の実物を郵便・窓口へ提出し、教員の添削指導を受けて合格すれば完了です。

写真コースのTW・TX課題提出は郵送・窓口提出となります。

提出の際は必ず『テキスト科目添削指導評価書』を添付し提出してください。

郵送・窓口提出の場合でも、「airUマイページ」上で評価と講評を公開いたします。

履修順序

テキスト科目には着実にステップアップするために年次毎に前提条件を設けています。基本的に1年次配当科目→2年次配当科目→3年次配当科目→4年次配当科目（卒業制作）の順番に履修してください。年次毎に履修の前提条件を設けていますので、着手する際には、本書pp.10～11「履修条件図」および各科目の「履修の前提条件」「課題提出順序」「提出締切日」などをairUシラバスで確認した上で取り組んでください。また、スクーリング科目とのつながりを確認しながらバランスよく取り組んでください。

単年度履修について

全てのテキスト科目は単年度（1年間）で単位が認定されます。課題が2つある科目は、第1課題と第2課題を同じ年度内に提出し、2課題とも合格しなければ単位が認定されません。合格しなかった場合、次年度にあらためて2課題とも取り組むことになります。

提出締切日と返却日について

TW科目（1～3年次課題）：4月、5月、7月、8月、10月、11月、1月、2月の11日～20日【必着】※消印不可
返却は翌月18日をめどに行います。

TX科目：「写真演習Ⅳ」の提出期間は個別に設定されています。airUマイページからシラバスを確認してください。返却は課題提出締切日の約25日後をめどに行います。

レポート形式の作品提出について

写真コース専門演習テキスト科目は作品課題です。レポート形式にまとめる課題の場合でも、シラバスの記載内容に従って作成し提出してください。

●作成にあたっての注意事項

- ・手描きの場合、PC使用の場合ともに任意A4判用紙（縦使い・横書き）を使用し、指定された枚数または文字数で提出してください。（本文中にレイアウトされた写真や図版は枚数に含みますが、表紙や添付資料はレポート提出枚数には含みません。）
- ・各用紙には何枚目であるかがわかるようにページ数を記入してください（1/8、2/8、3/8・・・8/8）。
- ・図版、写真の使用が求められている課題では課題内容にしたがって作成してください。
- ・文字は読むのに適切な大きさ（10～11ポイント程度）、フォントとしてください。
- ・手描きの場合も罫線入りレポート用紙、プロジェクトペーパー（方眼紙）を使用するなどして、読みやすいレイアウトを心がけてください。
- ・PC使用の場合は用紙に直接印字してください。別紙に印字したものを切り貼りしたものは受け付けできません（図版や写真の切り貼りは可）。

提出時の注意事項

- ・添付資料がある場合は、折る・縮小するなどして提出作品と同じサイズにして提出してください。
- ・資料が複数ある場合は、ホチキス留め、クリップ留め、クリアファイルにまとめるなど、バラバラにならない状態で提出し、資料の裏面にはすべて「学籍番号・氏名」を明記してください。
- ・作品サイズに応じて提出方法が異なります。各科目で指定された提出方法で提出してください。
- ・1kgを超えるもの、図面用筒の寸法が長さ60cm以上、直径15cm以上のものは第4種郵便適用外となります。宅急便・ゆうパックを利用してください。この場合、大学からの返送は宅急便（着払い）で行いますので、必ず返送用着払い伝票（返送先明記）を同封してください。

● USB提出の注意点

- ・USBの破損を防ぐためエアキャップ袋に入れるなどし、シラバスの指示通りに提出してください。
 - ・USBメモリに何らかの形で、必要事項「科目名、学籍番号、氏名」を記載してください。
 - ・USBメモリは、事前に必ずフォーマット作業をし、ウイルススキャンをおこなってから提出してください。
 - ・USBメモリには提出課題のみ保存した状態で提出し、パスワード設定は使用しないでください。
- ※フォーマットはmacユーザーに限り、「exFAT」形式でフォーマットすること。
- ※提出されたデータ内に不要なデータがある場合、またはウイルスチェックで危険なデータだと判断された場合、USBにパスワードが設定されデータが開けない場合は、課題を受け付けることができません。

● クリアファイルとクリアホルダーについて

課題の提出に際して、クリアファイル（透明ポケット式ブック）やクリアホルダーに作品や企画書を入れて提出するよう指示されている場合があります。クリアブックとは、書類を挿入する透明のポケットがブック形式になっているものです。クリアホルダーとは、書類を挟み込む形式になっているものです。



クリアファイル（透明ポケット式ブック）



クリアホルダー

作品保管について

- ・制作した作品は大切に保管し自身のポートフォリオ作成や卒業制作の材料として役立ててください。
- ・参考作品としてairUマイページへ掲載させていただく場合があります。その場合は個別にご連絡いたします。
- ・一部のテキスト科目についてはairUマイページの添削作品例に参考作品事例を掲載していますので参考にしてください。

12. 専門演習スクーリング科目 (S)

スクーリング科目とは、airUマイページを活用した事前学習と2日間の教員との対面授業または遠隔授業で構成される科目です。各科目の到達目標に応じて設定される課題に事前課題と授業を通して取り組み、それぞれに作品を完成させます。

履修の前提条件について

1・2年次配当スクーリング科目は履修の前提条件はありませんので、配当年次に達成していれば履修可能です。学習効果の面から1年次配当科目を合格後、2年次配当科目へ着手するという段階的な履修方法をおすすめします。

3・4年次配当のスクーリング科目は履修の前提条件が設けられています。スクーリングの申し込みまでにその履修の前提条件を満たしていなければ、申し込みをされても不許可となりますのでご注意ください。

スクーリング科目の履修の前提条件

配当年次		
1年次	なし	
2年次	なし	
3年次	スクーリング申込までに「写真演習Ⅰ-1」「写真演習Ⅰ-2」「写真演習Ⅱ-1」を合格済みのこと	
4年次 (卒業制作)	卒業制作1、2	前年度末までに卒業制作着手要件を満たすこと。
	卒業制作3-6	スクーリング申込までに「卒業制作(3~6)」履修の前提条件を満たすこと。(詳細は本書pp.8~9参照)

スクーリング開講時間

開講時間は1講時80分です。ただし、学外開講スクーリングなど、必要に応じて時間帯を変更する場合があります。

■開講時間

I 講時	9:30 ~ 10:50
II 講時	11:00 ~ 12:20
III 講時	13:20 ~ 14:40
IV 講時	14:50 ~ 16:10
V 講時	16:20 ~ 17:40

授業スケジュール・担当教員について

- ・授業スケジュール、研修先、担当教員などは予定であり変更になる場合があります。
- ・対面（京都・東京）または遠隔（Zoom）での開講を予定していますが、申込者が極端に少なかった場合は開講を中止し、他日程のみの開講へ変更することがあります。予めご了承ください。各科目の開講形態は、airUの「シラバス」にてご確認ください。

欠席・遅刻・早退の取り扱い

スクーリング科目の単位修得は、授業の全講時出席を原則としています。期間中の欠席・遅刻・早退は認められません。また、欠席・遅刻・早退が発生した場合は、単位認定の対象とはならず欠席扱いとなりますので十分に注意してください。

スクーリング申込みとキャンセル

airUマイページからスクーリングの申込み、キャンセルが可能です。

事前課題について

スクーリングは、自宅での事前学習を必須とします。事前課題に取り組んでいることを前提に進めていきますので、スクーリング受講までに各科目の事前課題に取り組み、各シラバスの指示に従い提出してください。取り組んでいない場合は単位認定対象外となります。

遠隔授業について

- ・遠隔授業では、ご自宅等でZoom（オンライン会議ソフトウェア）を利用して、リアルタイムで授業を受講します。遠隔授業も対面授業と同じく申し込みが必要です。
 - ・Zoomへのアクセス方法はシラバス内容をご確認ください。
 - ・受講の際には、使用するパソコンのWebカメラ及びマイク、スピーカーが使用可能であることを事前に確認してください。また、大容量のデータを送受信することのできる通信環境が必要です（有線および光回線推奨（ダウンロード250Mbps以上、アップロード100Mbps以上））。
- airU学習ガイド「オンライン会議ソフトウェア『Zoom』について」をご参照のうえ事前にZoomの接続テストをしておきましょう。
- ・遠隔授業の場合でも欠席・遅刻・早退は同じ扱いとなりますのでご注意ください。
 - ・受講時の注意が守られない場合は、教員の判断により退出していただく場合があります。
 - ・遠隔受講時は対面授業時と同様に出欠・受講状況確認のため、原則カメラをオンにして受講していただきます。持病などやむを得ない事情により、カメラをオンにして受講できない場合は、スクーリング申し込み時に事務局まで申し出て、許可を得てください。
- 事前に事務局に問い合わせが無く、長時間カメラがオフになっている、教員からの呼びかけに返答がないなど、受講時の注意が守られない場合は研究室の判断により単位認定対象外となる可能性があります。

スクーリング時の持参物および準備物について

- ・airUマイページの各スクーリング科目のシラバスに記載の持参物や準備物は自己負担で購入し、対面授業の場合はスクーリング会場に必ず持参、遠隔授業の場合は必ず授業当日までにご準備ください。
- ・学内LAN利用アカウント：PCを持参するスクーリングでは「学内LAN利用アカウント」を持参してください。

制作に関する注意事項

- ・スクーリングで制作した作品やレポートは大切に保管し、ポートフォリオの作成や卒業制作の材料として役立ててください。
- ・なお、持ち込まれるノートパソコン、USBフラッシュメモリ、SDカード等の記憶メディアについては、事前に必ずウイルスチェックを済ませておいてください。また、教室内の電源には限りがあるため延長用電源コードもあわせて持参してください。
- ・持参物のノートパソコンにソフトウェアの事前インストールが必要な科目がございます。本書p.25を確認し、準備をしてから受講してください。

授業風景・作品撮影とその取り扱いについて

スクーリング中に大学が撮影した授業風景や作品写真は、通信教育部ブログ記事での掲載、スクーリング授業内での参考事例として使用させていただくことがあります。差し支えのある場合は撮影時に直接担当教員まで申し出てください。

卒業制作スクーリング申込時の注意点

- ・卒業制作は年に2回（卒制1・2は春期、卒制3～6は秋期）で申込が必要です。卒業制作は1年を通して学習を進めるため、年間を通して同一会場での申込を推奨します。申込の際は下記の表に従い、可能な限り東京会場の科目または京都会場の科目より選択してお申し込みください。
- ・東京会場の科目（E日程は東京会場と中継）

対面および遠隔を選択	卒業制作 1	卒業制作 2	卒業制作 3	卒業制作 4	卒業制作 5	卒業制作 6
対面		2T1	3T1	4T1	5T1	6T1
遠隔	1E1	2E1	3E1	4E1	5E1	6E1

※卒業制作1を1E1で受講された場合、卒業制作2以降は東京会場の科目または東京会場と中継する科目を申込ください。

- ・京都会場の科目（E日程は京都会場と中継）

対面および遠隔を選択	卒業制作 1	卒業制作 2	卒業制作 3	卒業制作 4	卒業制作 5	卒業制作 6
対面		2K1	3K1	4K1	5K1	6K1
遠隔	1E2	2E2	3E2	4E2	5E2	6E2

※卒業制作1を1E2で受講された場合、卒業制作2以降は京都会場の科目または京都会場と中継する科目を申込ください。

- ・卒業制作の流れや注意点を説明する『卒業制作ガイダンス』を年度末に実施いたします。開催時期はairU『お知らせ』にてご確認ください。
- ・【卒業制作着手許可】を受けた方で辞退をされる場合は、airU学習ガイド＞学習方法＞卒業判定＞2023年度卒業研究・卒業制作着手辞退の指示にしたがって手続きを行ってください。

13. カメラ・機材について

写真コースでは以下の機材が必要です。

機材名	備考	メーカーについて
①デジタル一眼カメラ	メーカー自由	・ キヤノン ・ ニコン ・ ソニー ・ パナソニック ・ オリンパス ・ ペンタックス ・ ライカ・フジ ・ 他
②レンズ	各自のカメラメーカー専用のもの 標準ズームレンズ	
③三脚	各自のカメラが安定するもの	
④レリーズ	各自のカメラ専用のもの。リモートおよび スマホアプリ可。	
⑤フード	各自のレンズ専用のもの	
⑥パソコン	本書 p.25「パソコンとインターネット環境について」を参照。	Macintosh 推奨

■デジタル一眼カメラについて

デジタル一眼カメラは以下の機能をすべて満たすものがが必要です。

- ・ マニュアル機能がついているもの（絞りとシャッタースピードが個別に設定できること）
- ・ マニュアルフォーカスがついているもの（オートフォーカスだけでなく、自分でピントを設定できる機能がついているもの）
- ・ イメージセンサー（CMOSやCCD など）のサイズがマイクロフォーサーズ以上のもの
- ・ レンズ交換ができるもの
- ・ 画素数が1,000万画素程度以上のもの
- ・ RAWデータの撮影ができるもの
- ・ シンクロ接点もしくはホットシューがついているもの（ストロボの接点がついていて、かつ外部ストロボが使えること）
- ・ 三脚をとりつけるねじ穴がついているもの
- ・ レンズを取り外した状態でシャッターが切れる（撮影ができる）もの
- ・ 標準相当のミリ数を含むズームレンズ（広角、標準、望遠の複数のレンズでも可）
- ・ 写真 V-7（ライティング・アドバンス）ではテザー撮影が可能なデジタル一眼カメラが必要です。受講前にご自身のカメラが対応可能かメーカーや販売店に確認してください。



現在市販されているデジタル一眼カメラであればメーカーは関係なく、必要な機能が付いているものがほとんどです。不安な方は、『シラバス』で各科目の必要な機能を確認し、メーカーや販売店に事前に問い合わせをしてください。

■三脚について

三脚は、写真撮影において重要な機材の一つです。重くて大きな道具ですが、目的や条件によっては必需品となります。操作自体は難しくありませんが、日頃から使い慣れておく必要があります。スクーリング科目の持参物として三脚の記載があっても、人混みやその場所の決まりで使えないこともあります。また、屋外の撮影で天候が崩れ、三脚がないために上手に撮影できないこともあります。三脚が必要か、必要でないかはスクーリングを受講していくことで学んでいきますので悩まれた場合は持参するようにしてください。

- ・三脚のプラスチック部分が少ないものが望ましい（堅牢性が高いもの）
- ・高さは最低でもカメラを三脚につけて全てのばした状態で、立った状態の自身の目線の高さになるもの（できればエレベーターを使わない状態で）
- ・カメラを三脚につけてぐらつかない

■露出計について

以下のスクーリング科目では露出計を使用しますのでお持ちの方は持参してください。

- 「写真Ⅱ－3（ライティング基礎）」
- 「写真Ⅴ－7（ライティング・アドバンス）」

撮影の際、光の量を計り、シャッタースピードと絞りを設定するために使用します。

また、ストロボ撮影にも使用します。

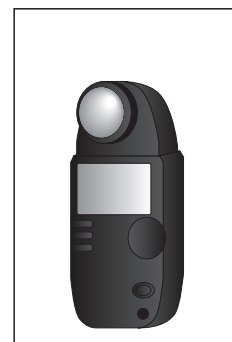
新たに購入する必要はありません。



■補助教材について

以下の資料を airU「教材ボックス＞補助教材」に掲載しています。在学中必要に応じて参照してください。

- ・「デジタル写真1～3」（補助教材）
- ・「資料編1」カメラ使用説明、カメラ用語解説
- ・「資料編2」デジタル写真の基礎知識



■パソコンとインターネット環境について

パソコンと自宅でのインターネット環境が必要となります（有線および光回線推奨。ダウンロード 250Mbps、アップロード 100Mbps）。

ソフトウェア（Adobe Creative Cloud 推奨）と、ノートパソコン（Macintosh 推奨。必要な作業ができる Windows などでも可）の持参が必要になります。

パソコンおよび持参するノートパソコンは各自が使用するカメラのメーカーが指定する PC 動作環境以上の機能が必要です。

そのため新たにパソコンを購入される方はノートパソコンを推奨します。写真コース専門スクーリング科目では、iPad や surface などのタブレット端末は不可です（一部スクーリングを除く）。

主に以下のスクーリングで各ソフトウェアを使用します。

「写真Ⅱ-2（撮影基礎2）」E日程のみ	Adobe Photoshop
「写真Ⅳ-1（デジタルフォト1）」	Adobe Photoshop
	Adobe Bridge
	Adobe Lightroom Classic
「写真Ⅳ-3（ポートフォリオ）」	Adobe Photoshop
「写真Ⅴ-6（デジタルフォト2）」	Adobe Photoshop
	Adobe Bridge
	Adobe Lightroom Classic
「写真Ⅴ-14（デジタル・プレゼンテーション）」	Adobe Premiere Pro

※ elements は不可

スクーリング当日まで以下の確認を行ってください。

- ソフトウェアのインストールを完了しておく
 - ソフトウェアをアップデートし、最新版にしておく
 - ソフトウェアを起動し、動作を事前に確認しておく
 - ウイルス対策ソフトをインストールしておく
- ※フリーウェア（無料ソフト）のウイルス対策ソフトは、ソフトにより安全レベルに差があるので推奨出来ません。

